

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	横須賀警察署		階数	地上5階、地下1階
建設地	神奈川県横須賀市新港町1-10		構造	SRC造
用途地域	準工業地域、防火指定なし、新港地		平均居住人員	141 人
気候区分			年間使用時間	1,984 時間/年
建物用途	事務所		評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年6月	0.0	評価の実施日	2012年11月29日
敷地面積	6,000 m <sup>2</sup>		作成者	(株)金子設計
建築面積	1,087 m <sup>2</sup>		確認日	2012年11月29日
延床面積	5,704 m <sup>2</sup>		確認者	(株)金子設計



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.4**

S: A: B+: B-: C:

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

参照値: 100%

建築物の取組み: 83%

上記+ 以外のオンサイト手法: 80%

上記+ オフサイト手法: 80%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.0

**LR のスコア = 3.6**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 建物を南北軸に配置し、前面道路に対し視線の抜けを確保し、地域の眺望や風の抜けなど、近隣住民の住環境に配慮した。前面道路側はセットバックし、歩道の間に緑地を設けることで圧迫感を和らげる計画とした。また太陽光発電システムなどを積極的に採用している。		0
<b>Q1 室内環境</b> 執務空間に可能な限り自然光を取り込み、最上階廊下の自然光を確保しにくい部分にはハイサイド窓を設け、積極的に昼光設備を設けている。	<b>Q2 サービス性能</b> 各階の便所の男女いずれかに掃除用流しを配置し、屋外には管理しやすいよう出入口の近くにごみ置場を配置している。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 敷地南側の前面道路側は周辺住民が歩行する部分を広くとれるよう外周に緑地と平板舗装を施す外構計画とし、周辺建物とプロムナードを形成するよう樹種を選択している。
<b>LR1 エネルギー</b> 太陽光発電システムの導入、LED照明器具を採用し、省エネルギーを図る。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 舗装路盤材に再生砕石を採用している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 緑地面積を敷地面積に対し約18%確保し、敷地外への熱的な影響を低減している。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい